







●医療用メスによるピアッシングで、一対約1.5センチの太さのラブリットを挿すことができる。



●ニードル(針)を刺すのではなく、メスで切る。

### 医療用メスを使った「スカルペル・ピアッシング」

◆数年前までは、大きなピアスをしたかったら、時間をかけて、拡張していくのが一般的だった。しかし、最近では、「スカルペル・ピアッシング」といわれる、医療用メスでピアス穴を切って拡張する方法が行われている。ラブリット(唇の下)、ニップル(乳首)、ナベル(おへん)、イヤークロブ(耳たぶ)などに可動だ。



### プロが行なう「スプリット・タン」

◆舌の切り裂き「スプリット・タン」については、舌のピアス穴に刺さるきつくり方法「タイ・オフ」が最も広く行われているが、高い痛みに耐えられず脱落するケースも多い。プレア氏は、お客様にそのピアス穴を2ゲージ(6.4ミリ)まで拡張してもらい、そのピアス穴が先端まで医療用メスで一発に切り裂き、脱落した金属で舌の切傷を焼き止血する方法で行っている。治療の回数も仕事上がらみで、プロとして完成された方法だという。



●医療用メスを用いて拡張されたラブリット。

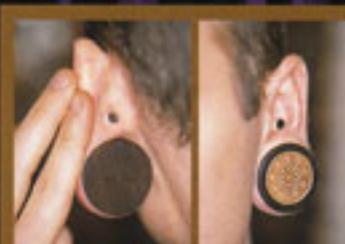


### ジュエリーの両端が皮膚に届る「ポケットイング」

◆ピアッシング・ジュエリーの両端が皮膚に届る「ポケットイング」。傷が完全に治って、定着したという実例は報告されておらず、実験段階のピアッシングであるが、プレア氏は、両端を内側に曲げたジュエリーを試みている。



↑ジュエリーの両端が内側に曲げられている。  
●プレア氏の「ポケットイング」作品。



●プレア氏のパートナー、マイアンの耳に挿された「ターマール・パンチ」の唇板(直径約4センチ)。

### 耳の軟骨をくり抜く「ターマール・パンチ」

◆耳の軟骨のピアスを、小さい穴から徐々に拡張していくのは、非常に困難で、軟骨に大きなピアスをした場合には、「ターマール・パンチ」と呼ばれる、鋭利な刃物が小さな筒状に丸められた医療器具でくり抜いてしまう。



●ターマール・パンチの挿入。

## ピアッシングを超える「身体改造」には、徹底した衛生面の配慮が必要で、施術後のトラブルにも施術者が対処を!!

目的が近い面刺でゆるいサイズならカラコティンク、貫やうっはいの大きいサイズならフランディングを勧めますね。同じカチンクタイプでも皮膚を引き刺さずスティング・リムールバルなら太くなりますね。「ええ、それはテックニラクの問題です。でも、皮膚を引き刺さされるなら、焼印の方がいいという人も多いと思いますよ。だから、人によりです。耳の軟骨に大きなピアス穴を開ける「ターマール・パンチ」も、非常に素晴らしいテクニックです。あなたが行う「スプリット・タン」は、あなたが行う「スプリット・タン」

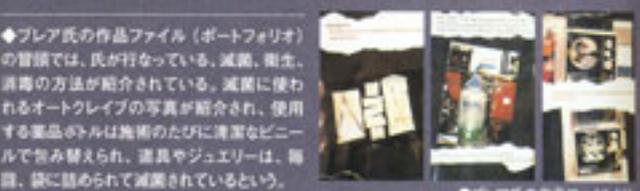
ト・タンとは、簡単に言葉にすると、舌の切り裂きです。「私のやり方は、現在、最も広く行なわれているピアス穴を糸で縛って切り裂いていく「タイ・オフ」と呼ばれる方法よりも優れていると思います。まず、最初に舌にピアスし、6週間から2ヵ月ほどかけて、ピアス穴を2ゲージ(6.4ミリ)まで拡張します。その上で、ピアス穴から舌の先端にかけてを医療用メスで切つて、切断面を過熱した金属で焼いて止血します。とにかく、ピアス穴を2ゲージまで拡張しておくことが秘訣です。8

「私は、まず安全を最優先しています。なぜなら、実例が少ない改造は、ある人はうまくいっても、他の人たとうまくいかなかったりという個人差が大きいのです。雑誌などを見て、やって欲しいという人がきても、本当にその人が、その改造を欲しているのかを見極める必要があります。プロとしてやっている以上、1人でも大きなトラブルが起こるようなことがあってはならないです」

◆あなたは非常に卓越した方法を開発する一方で、過激な改造については慎重です。私は、まず安全を最優先しています。なぜなら、実例が少ない改造は、ある人はうまくいっても、他の人たとうまくいかなかったりという個人差が大きいのです。雑誌などを見て、やって欲しいという人がきても、本当にその人が、その改造を欲しているのかを見極める必要があります。プロとしてやっている以上、1人でも大きなトラブルが起こるようなことがあってはならないです」

### プレア氏より、身体改造希望の方へ

★私、プレアは、ピアスやタトゥーの経験がなく、初めてお会いした人には、ピアスを超える改造系の作品ファイルは見せていません。  
★私、プレアは、改造系の作品ファイル(ポートフォリオ)で紹介している方法で、衛生管理に細心の注意を払っています。  
★私、プレアは、施術したお客様には、施術後のあらゆるトラブルに対応するために、私個人の連絡先を控え、施術後のデータ管理に努め、より良い施術方法確立に努力しています。



●プレア氏の作品ファイルより。

◆プレア氏の作品ファイル(ポートフォリオ)の冒頭では、氏が行っている、滅菌、衛生、消毒の方法が紹介されている。滅菌に使われるオートクレイブの写真が紹介され、使用する薬品のトルは施術のたびに清潔なビニールで包み替えられ、道具やジュエリーは、毎回、袋に詰められて滅菌されているという。

◆無料Eメール「BMニュースレター」(改造アーティストの最新情報など)を希望の方は、ウェブページ(ggsb@wa2.sonet.ne.jp)まで。